

科目名	視覚障害者の心理と教育			担当教員	青柳 まゆみ、安田 和夫	
単位	1単位	講義区分	演習		ナンバリング	
期待される学修成果	教科教育 子ども理解					
‘アクティブ・ラーニング’の要素	該当なし					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	視覚障害の特性を適切に理解し、それらを踏まえた指導・支援のあり方について考える視点を明確に持つことができる。					
授業の概要	盲児、弱視児それぞれに対する指導上の配慮事項に関する基礎的な知識を得た上で、教科教育や自立活動等における具体的な指導法、教材・教具の工夫について学習を進める。 教科書の内容に沿って講義を行うほか、実際の指導場面等を視聴覚教材を用いて学習する。また、視覚障害の疑似体験を通して、指導上の配慮の要点を体験的に学ぶ。					

授業計画	
第1回	視覚障害児の教育課程・学びの場・実態等
第2回	視覚障害の定義・分類・原因等
第3回	盲児の心理的特性と指導法の基礎
第4回	点字の概要と指導法
第5回	弱視児の心理的特性と指導法の基礎
第6回	教科指導の基本的な考え方・指導法・教材教具
第7回	自立活動の指導
第8回	キャリア教育・進路指導

事前学修	2時間	指定教科書の該当箇所を熟読して内容をある程度理解し、疑問点などを整理した上で授業に臨むこと。
事後学修	2時間	指定教科書の各章末にある「復習問題」に取り組むなど、授業の内容を復習する。
フィードバックの方法	学生が作成した課題や質問等に対するフィードバックは、授業中に口頭または配布資料にて行う。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
レポート		80%	課題の詳細や提出方法については、授業中に指示する。
上記以外の試験・平常点評価		20%	授業参加態度。
定期試験		0%	実施しない
補足事項			

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
新 視覚障害教育入門	青柳まゆみ・鳥山由子編著	ジアース教育新社	978-4-86371-533-2	※初回の授業までに、各自大学所定の場所で購入しておくこと。
参考資料	授業中に随時指示する。			